

平成21年7月28日

各 位

創業130周年記念事業
親和銀行コレクション「大航海時代の陶磁器展」開催のお知らせ
～ オープニングセレモニーを開催します ～

株式会社 親和銀行（本店：佐世保市、頭取：鬼木和夫）では、創業130周年を記念して、長崎県内の文化芸術・スポーツ振興に係る様々な事業に取り組んでおります。

今回、4月より長崎県美術館にて開催した当行所蔵の美術品展に引き続き、当行発祥の地である平戸市において、『親和銀行コレクション「大航海時代の陶磁器展」』を開催いたしますので、お知らせします。

なお、8月1日に同博物館にてオープニングセレモニーを開催いたしますので、あわせてお知らせします。

記

1. 「大航海時代の陶磁器展」開催概要 ……詳細につきましては、別紙1をご参照ください。

- (1) 開催期間 平成21年8月1日（土）～平成21年8月31日（月）
- (2) 開館時間 8：00～17：30
- (3) 開催場所 松浦史料博物館（長崎県平戸市鏡川町）
- (4) 観覧料 有料（一般 500円、高校生 300円、小学生 200円）
- (5) 展示作品 約30点（古伊万里、平戸藩窯三川内焼） ……別紙2をご参照ください。

2. オープニングセレモニー概要

- (1) 日 時 平成21年8月1日（土） 午前10時より
- (2) 場 所 松浦史料博物館 入り口
〔住所：長崎県平戸市鏡川町12番地 電話番号0950-22-2236〕
- (3) 内 容 10時より松浦史料博物館でテープカット及び内覧会を行います。

以 上

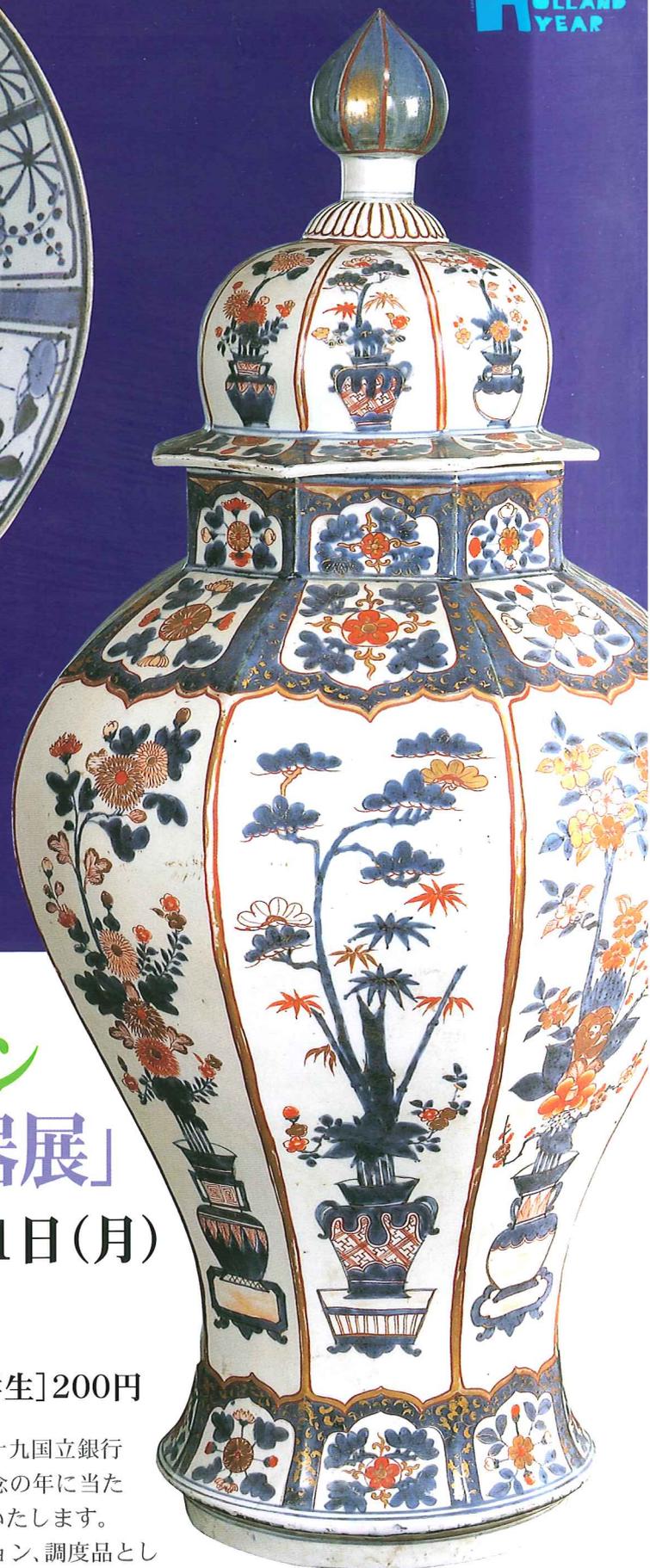
本件に関するお問い合わせ先

（株）親和銀行 総合管理部 山川 TEL0956-23-3579



「染付芙蓉手VOC文字大皿」

オランダ貿易の商品として伊万里焼を象徴するような染付けの皿である。見込円窓にV.O.Cの頭文字はオランダ東印度会社の社章である。



「染錦花籠図唐花文八角面取沈香壺」

八角の面には花籠絵模様として春秋の季節の花を描き特色付けている。やや乳白を帯びた磁肌で意匠全体に気品がある。世界で3点しか確認されていない逸品中の逸品である。

創業130周年記念

親和銀行コレクション

「大航海時代の陶磁器展」

平成21年8月1日(土)～8月31日(月)

開館時間 午前8時～午後5時30分

入場料 [一般]500円 [高校生]300円 [小学生]200円

親和銀行は明治12年(1879)、旧平戸藩主松浦詮により第九十九国立銀行として平戸市に創設されました。本年は創業130周年という記念の年に当たり、同行の所蔵品から厳選した陶磁器を特別にお借りして公開いたします。

本展覧会では江戸時代にヨーロッパの王侯・貴族のコレクション、調度品として輸出されたものの時を経て里帰りした古伊万里や、平戸藩窯三川内焼など30点の作品をご覧ください。



松浦史料博物館

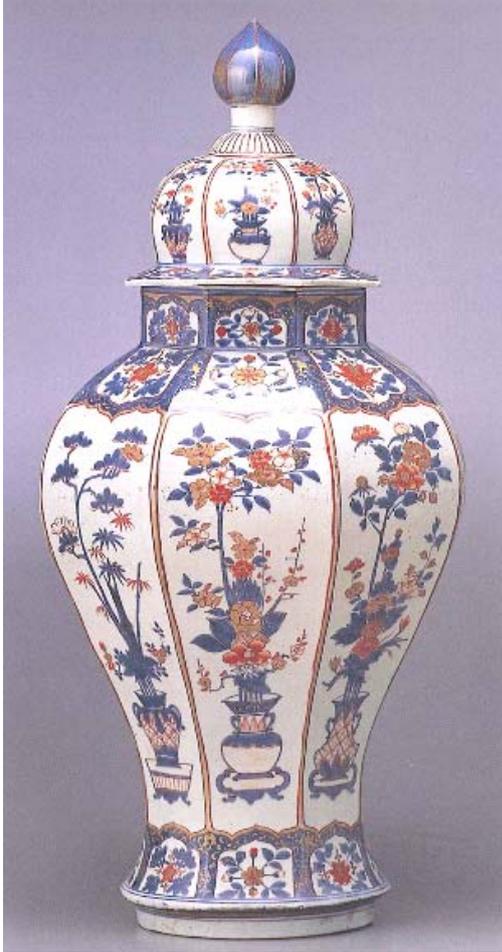
〒859-5152長崎県平戸市鏡川町12番地

TEL.0950-22-2236

<http://www.matsura.or.jp>

(別紙2)

◆染錦花籠図唐花文八角面取沈香壺



沈香壺とは蓋のある壺で、高さ25cmほどの中型のものから大きなものまでに用いられる名称。八角の面には花籠絵模様として春秋の季節の花を描き特色つけている。世界で3点しか確認されていない逸品中の逸品。

◆染付芙蓉手VOC文字入皿



オランダ貿易の商品としての、伊万里焼を象徴するような染付の皿。見込み円窓内にV.O.C.の頭文字があらわされているのは、オランダ東印度会社（Vereenigde Oostindische Compagnie）の略。

◆染付御所車置物



平戸藩で焼造され、幕末に海外に輸出された染付磁器。細部の作りの実に細やかなもので、全体的に印花文がほどこされ、全体に薄瑠璃釉がかけられている。そこには針描きで「平戸茂左衛門」の銘が入っている。